

平成30年(2018年)9月4日 火曜日 (20)



# 生徒将来への視野広げる

## 松本秀峰 保護者講師に20講座

松本市埋橋2の松本秀峰中等教育学校でこのほど、生徒の保護者を講師に迎えてさまざまな専門分野を学ぶキ

村木さん(中央)に内視鏡や超音波検査機器の説明を受ける生徒

ヤリア教育授業「秀峰アカデミア」が開かれた。医師や弁護士、学校教諭など多様な職種(44)の講座には約20人が参加した。村木さんは胃がんや大腸がんといった日本人の死因の上位にある消化器系の病気を治療する消化器内科の役割を紹介した。生徒は内視鏡や超音波検査機器の操作も体験

した。医療系の仕事に興味を持つ4年生の西澤知音さん(15)は「校内でこれまで多彩な医師の講座を受けたが消化器系分野は初めて。機器の体験もしたことがなく将来への視野が広がった」と喜んでい

「秀峰アカデミア」は、生徒の進路設定の参考にもらおうと開校以来毎年行われている。  
(小岩井貴之)